

入学おめでとう

万卷の書は蔵にあり



文学部長
宇野 茂彦
うの しげひこ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

この中央大学の多摩キャンパスは自然に恵まれたなかなか気分がいい場所だと思います。校舎の向うには形のいい小山があるのがすぐ目に入るでしょう。山頂にお稲荷さんが祀られていて、近所の方々の崇敬を集めている山でもあります。麓には桜の林があり花を咲かせて皆さんを迎えているはずです。グラウンドに立つてみれば周囲は小山の緑に囲まれて、とても清々しい気分になります。この秀麗の地でいわゆる浩然之気を養って学園生活を過ごして頂きたいと思います。

孟子はこの浩然之气が外界から入ってくるのではなく、精神の正しさを積み上げることで生れると言っています。皆さんにとってこの気を養う最良の方法とは何か、それは書

物を沢山読むことだろうと思います。今までも本は読んで来られたでしょう。しかし、人生のなかで大学時代ほど余裕のある時は無いのですから、このときこそ落ち着いて本を読んで頂きたい。その書物は思想や文学、或いは歴史に関わる重厚なものが望まれます。重厚な書は社会に出てからは余程努力しないと読めないからです。そして書を読むことの意味の大きさに気づいて頂きたい。

或る碩学の先生曰く「書を読むことは人を読むこと、いな、すべてを読むことだ」と。本当にそうだと思います。そして、書によって言葉を知ることは思索をすることに他なりません。話し言葉、書き言葉といいますが、言葉はなにより考える言葉なのです。皆さんがそこに気づいて読書を重ねられんことを期待します。